



秋も深まり、ドングリ集めや落ち葉ひろいが楽しい季節ですね。秋の読書週間に行っている「中村小読書ビンゴ」は楽しんでますか？図書委員会が「みんなに本をもっと好きになってもらいたい」と思って考えたイベントです！いつもは手に取らないような、新しい本に出あえるチャンスです。みなさん、どんどん参加してくださいね。

～いろいろな秋を楽しもう！～

芸術



『日本の伝統芸能はおもしろい3 野村萬斎の狂言』
野村萬斎（監修） 小野幸恵（著） 岩崎書店
狂言には、笑う・食う・キノコ・ノコギリなどの型があり、型があるからこそおもしろいのだということです。そのほかにも面、衣装、演目のあらすじについて絵と写真でわかりやすく説明しています。

スポーツ



『Messi ハンデをのりこえた小さなヒーロー』
マイケル・パート（著） 樋渡正人（訳） ポプラ社
史上最高のサッカー選手とたたえられるリオネル・ Messi。子どものころのMessiは、成長ホルモンが不足する病気をかかえ、毎日みずから注射を打ち、治療をつづけていたのです。

読書



『としょかんねずみ』
ダニエル・カーク（作） わたなべ てつた（訳） 瑞雲社
としょかんに住むねずみのサムは、本をよむのが大好き。とうとう「自分で本をかいてみよう！」とおもいつきました。サムは夜のうちにこっそり自分の本をとしょかんの本だにならべてみました。すると…。

食欲



『おはなしサイエンス 未来のたべもの』
未来の給食、なに食べる？』
楠木誠一郎（作） 下平けーすけ（絵） 講談社
食糧不足の時代がやってきて、給食が食べられなくなるかもしれません。宿題で、科学の力で作れる新しい食材を使った未来の給食を考えることになりました…。

絵本で学ぼう！SDGs

13 気候変動に具体的な対策を



SDGsの目標13 気候変動に具体的な対策を

今年の夏はいつもより暑い日が続きましたね。それは、人間の活動が原因で地球温暖化が進んでいるからです。まずは電気をこまめに消し、できるだけ出かけるときには自家用車ではなくバスや電車を利用し、地球にやさしい暮らしを心がけましょう。

『わたしたちの家が火事です』ザネット・ウィナー（文・絵） 福本友美子（訳） 鈴木出版

グレタはスウェーデンで暮らすおとなしい女の子。ある日授業で、世界中の気候がおかしくなり、地球の温度が上がっていることを知ります。地球という大切なみんなの家を救うために勇気ある行動にでます。

◆ 本でコミュニケーション

★おすすめの本★ （伊藤由紀子先生のおすすめ）

『しゅくだい』 宗正美子（原案） いもとようこ（文・絵） 岩崎書店

「しゅくだい」と聞くと「えー!？」という気持ちになるかもしれませんが、そのしゅくだいは思わずやりたくなるしゅくだいです。どんなしゅくだいかな？ぜひ、読んでみてください。

